



国土交通省

南陽出張所通信

第163号

平成27年11月30日

【発行者】国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所 南陽出張所

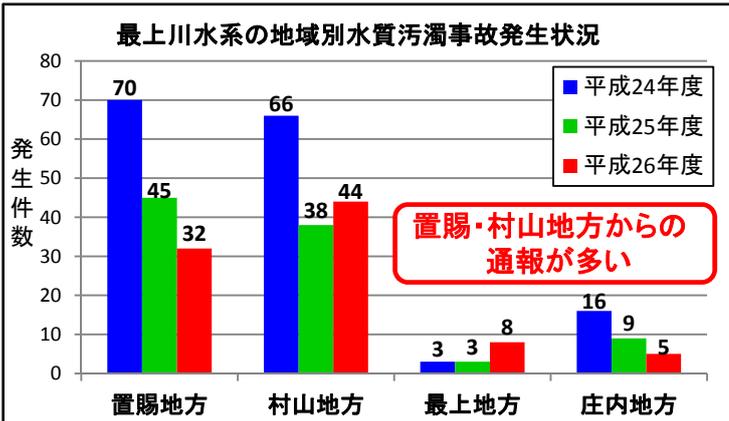
〒999-2232 南陽市三間通14 TEL:(0238)43-2011 FAX:(0238)43-2411

ホームページアドレス→ <http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/syucho/nanyou/>

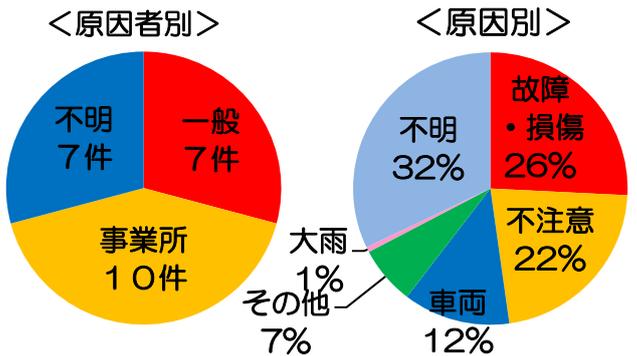
油流出事故に注意!!

寒くなり、暖房器具を使用する季節になりました。それに伴い、灯油などの油流出事故が多くなります。原因は、落雪や老朽化により配管などが損傷して油が流出するケース、ホームタンクからの小分け中にその場を離れてしまううっかりミスが多いです。

本格的な降雪前に、配管やホームタンクの点検を行い、灯油などの取扱には十分に注意しましょう！過去の例から、置賜地区ではこれから多発することが多いので、くれぐれも注意してください。



平成26年度 南陽出張所管内で発生した水質事故の内訳



意外に多いのが事業所の事故。特に昨シーズンは、湿った重い雪が屋根から落ちて配管を損傷する事故が多発！油の撤去費用は事業所(原因者)が負担することになり、数百万円になることもあります。

油流出
注意!!



テレビCM
放送中

事務所ホームページに掲載中(この文章をクリックして下さい。)

Q: どうして油を川に流しちゃいけないの?

A: 川の水は、飲み水、農業用水、工業用水に使われており、油が流れると水を利用できなくなります。また、魚などの生物にも大きな影響が出てしまいます。

事故を起こした場合や発見した場合

すぐ消防署(119番)・警察署(110番)または、お近くの
国や県の機関・市町村へご連絡下さい。

- ①発生・発見の日時と場所
(住所、事業所名、流出した河川名など)
- ②事故の内容(原因、油の種類と規模)
- ③被害状況と影響範囲
などを伝えて下さい!!





油漏注意!!

ご家庭のホームタンクは大丈夫?

油流出事故を防ぐための心掛け

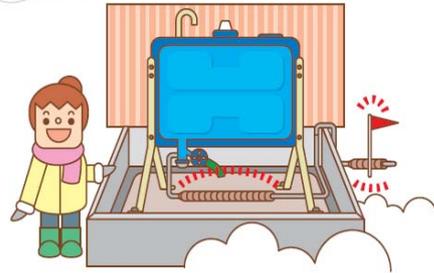


1 その場を離れない



ホームタンクなどから灯油を小分けするときは絶対にその場を離れないようにしましょう。

2 配管の場所には目印を



除雪による配管の破損を防ぐために目印を立てておきましょう。また、万一に備え防油堤を設置しておく心安いです。

3 落雪に注意して



屋根からの落雪による配管の破損・脱落やホームタンクの転倒に注意しましょう。

4 定期点検を怠らない



配管やホームタンクの定期点検に努めましょう。



∞ ∞ ∞ 油流出事故により ∞ ∞ ∞

ケース①: ホームタンクからポリタンクに小分け中にその場を離れてしまい、灯油120リットルを河川に流出させてしまった。

→約45,000円の請求

(内訳: オイルフェンス4m、浮き堰1個、吸着マット11枚)

ケース②: 工場内のボイラーへの給油ポンプ電源の切り忘れにより、重油100~200リットルを河川へ流出させてしまった。

→約850,000円の請求(内訳: オイルフェンス18m、

浮き堰1個、吸着マット196枚、オイルキャッチャー161m)



オイルフェンスや吸着マット等の設置・処分の多額の費用が請求されます!!

注意: 上記の請求額は国が求めた原因者負担額であり、これ以外に県や市町村からも請求される場合があります。